



子宮頸がん検診を受けましょう!! ～20歳からの検診で早期発見・早期治療を～

問 保健センター ☎823-4418 FAX.823-0020

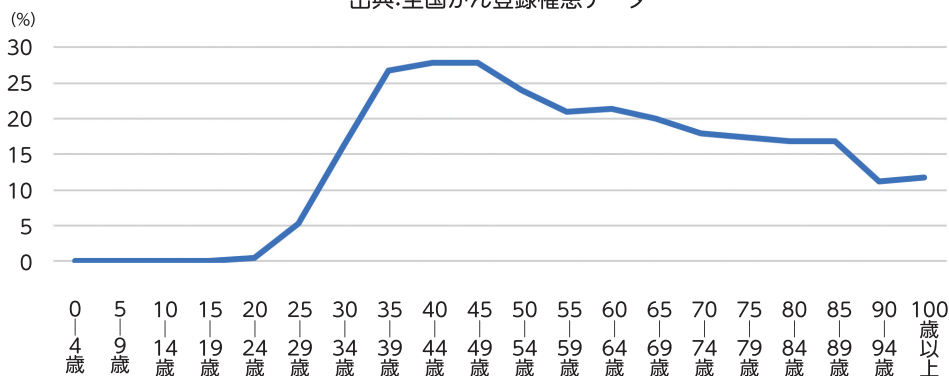
子宮頸がんは子宮の入り口にできるがんで、日本では毎年1万人以上が新たに子宮頸がんと診断され、年間約2,900人が亡くなっています。

20歳代、30歳代で発症する割合が比較的高く、がんの治療で子宮を失ってしまう人も1年間に約1,000人います。

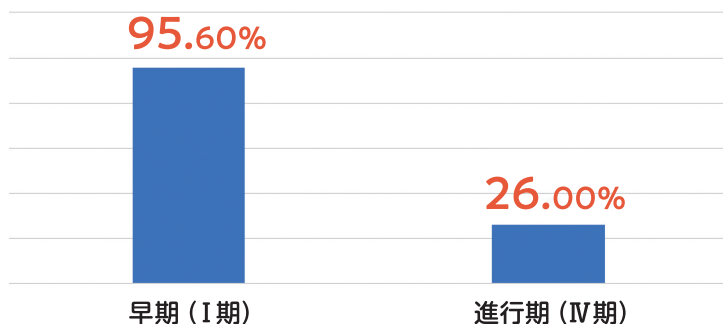
子宮頸がんは定期的な検診でがんになる前の段階で発見することができ、予防することができます。

年齢階級別罹患率(子宮頸部2019年)

出典:全国がん登録罹患データ



5年後の生存率は、こんなに差があります



出典:公益財団法人がん研究振興財団 がんの統計2022

夏休みなどを利用して子宮頸がんワクチンを接種しましょう

4月1日(土)から、9価ワクチンが定期接種として追加され、子宮頸がんや性感染症の要因となるウイルスの9タイプを予防できるようになりました。

接種完了までにおよそ6カ月かかります。長期休暇を利用して、接種しましょう。進学先の県外でも接種できます。15歳未満で接種を開始する場合は、通常3回のところが、2回で完了することもできます。

くわしくは海田町ホームページを確認してください。